

「維新の里 萩城下町マラソン（ハーフ）」

No.38 鷺 海 拓 也

12月13日（土曜日）

皆さんから「小国山荘」へのお声掛けもある中、また11月下旬から20日間続く「鼻と喉の症状（インフルとコロナは陰性）」で十分に走れていない。この様な状況で、2月の「北九州マラソン（ペアリレー）」の前哨戦として位置付けしていた「ハーフマラソン」。行く事に決めました。走れない日が続き不安でしたが、家内から「きつかったら歩いたら」と背中を押されました。感謝です。

12月14日（日曜日）

（8時00分）天気は「雨予報」でした。当日は小康状態でしたが、日本海側からの強風が吹いています。気温7度は想定内でしたが、この風により体感温度は5度以下だったのではと感じています。まず「萩市役所」付近の駐車場に車を停めて、シャトルバスにて10分程度で会場の「萩ウエルネスパーク」まで移動。スタートまで約1時間半。体温の低下を防ぐため、整列時間まで待機場所の「武道館」に待機していました。

（9時40分）他の選手はのんびりしているのか、私がスタート地点の国道に下りた時はまばらでした。強風に背中を向けてひたすらにスタート時間を待ちます（寒）。

（10時00分）スタート。早く体を温めたくて、走り出しはうれしかったです。「鼻水」が流れています。思ったよりも好スタートで中間地点まではペースを維持。

8km付近の「菊ヶ浜」で右側には白波の立った波が押し寄せていて、強風をまともに受けて難所でした。ここを過ぎて少し気が緩んだのか、車を停めてある駐車場付近では「リタイア」の選択肢もよぎりましたが、生徒たちの顔が浮かんで何とか我慢。「先生は頑張ったよ」と報告したかった。疲れも出たのか、その後は所々を歩きました。「空腹感」も出てきて、なんだが情けない気分でしたが、17km付近にあった「私設エイド」で美味しいミカンとバナナを頂き、パワーをチャージ。

18km地点では、萩市内の病院で検査技師をしている後輩が応援しており、偶然の再会。並走しながら近況報告。フィニッシュは間近に感じました。

しかし、残り2km付近で小雨が降り始め、ペースアップする余力もなく何とかフィニッシュ会場へ。フィニッシュの「萩ウエルネスパーク」への上り道の国道で「のこり1km」の表示が。「えつ、この坂を含めてまだこんなに距離があるの?」と思い、残った体力を使い果たしての「フィニッシュ」でした。坂を上り切った後に「陸上競技場」を回るコースは、どこのレースでもしんどいです（涙）。

結果的には目標のタイムより 10 分も遅い（ワースト）記録でした。

（結果）2 時間 17 分 48 秒（グロス） 2 時間 16 分 48 秒（ネット）

ハーフ男子 60 歳代 126 位 / 239 人

総合順位 1412 位 / 2269 人



（※）時間通りに「スタート地点」に移動したが、ほとんどの選手は来ていない。強風をまともに受けながらの待機時間。